

JOURNAL

2024 October

特集 世界をひらく「留学」

vol. 39

—今しかできない！留学体験記—

—日法の留学支援—

—留学イベント年間スケジュール—

—International Education Center (IEC)を訪ねてみよう！—

—日法の留学への取り組みについて—

海外からの留学生に聞いてみた！

本年度から「就活ゼミ」が始まります！

法桜祭実行委員会から

特集

世界をひらく「留学」

NICHUHO NEWS '24 Oct. to '25 Mar.

日本大学法学部 Event Schedule

2024.10 → 2025.3

10

就職指導課		教務課	学生課	研究事務課
		図書館事務課	入学センター	大学院事務課
10月2日(水)	第3回総合就職ガイダンス③	9月19日(金)～11月11日(月)	肉筆と幻の本で読む永井荷風展	図
10月7日(月)	エントリーシート対策・面接対策講座(本選考向け)③	10月4日(金)	日本大学創立記念日(休校)	教
10月9日(水)	エントリーシート対策・面接対策講座 (就活初心者・基礎を確認したい方向け)③	10月11日(金)・12日(土)	履修登録中止期間(後学期開講科目)	教
	★就活ゼミ エントリーシート対策講義②③	10月14日(月・祝)	「スポーツの日」は通常どおり授業を実施	教
10月上旬～11月上旬	★就活ゼミ 面接対策講義③	10月14日(月・祝)	講義参加型企画	入
	★就活ゼミ グループディスカッション対策講義③	10月26日(土)	保護者面談(オンライン形式及び地方会場)	教
10月中旬～11月中旬	★筆記試験対策講座(後学期コース)	10月27日(日)	令和7年度大学院法務研究科入学試験(第2期)	大
10月下旬	★筆記試験対策講座(WEBテスト対策模試)			

11

11月上旬	就活ゼミプレミアム講義②③ ※就活ゼミの受講者のみ	11月2日(土)	第45回法桜祭 1日目	学
11月中旬	★筆記試験対策講座(玉手箱対策模試)	11月3日(日・祝)	オープンキャンパス	入
	内定学生による内定者相談会③		第45回法桜祭 2日目	学
11月中旬～12月上旬	公務員業務説明会	11月4日(月)	「文化の日」振替休日(休校)	教
11月下旬	TOEIC講演会	11月7日(木)・8日(金)	ゼミナール入室申込期間	教
11月30日(土)	卒業生による就活セミナー(法学校友会共催)③	11月9日(土)	第2回学生選書ツアー	図
		11月9日(土)	第4回定期無料法律相談会	研
		11月14日(木)	第4回法務研究科進学相談会	大
		11月21日(木)	ゼミナール入室試験(休講)	教
		11月23日(土・祝)	「勤労感謝の日」は通常どおり授業を実施	教

12

12月上旬	業界別個人模擬面接③	12月1日(日)	令和7年度大学院法務研究科入学試験(第3期)	大
12月中旬	SPI3受検会	12月14日(土)～16日(月)	1年生英語一斉テスト	教
	★就活ゼミ エントリーシート対策講義②③	12月14日(土)	法律討論会	研
12月中旬～2月中旬	★就活ゼミ 面接対策講義②③	12月21日(土)	第5回定期無料法律相談会	研
	★就活ゼミ グループディスカッション対策講義②③	12月24日(火)	冬季休業開始	教

01

1月中旬	就活準備総まとめ講座③	1月～3月	16-18世紀法律分野学位論文コレクション展	図
1月29日(水)・30日(木)	学内合同企業セミナー③	1月9日(木)	冬季休業終了	教
1月下旬	★就活用証明写真撮影会③	1月13日(月・祝)	「成人の日」(休校)	教
		1月18日(土)	大学入学共通テスト(休校)	教
		1月21日(火)・22日(水)	補講日	教
		1月23日(木)～25日(土)	後学期末試験	教

02

2月上旬～下旬	学内企業研究セミナー③	2月3日(月)	成績発表(最終学年のみ)	教
2月中旬	就活ゼミプレミアム講義②③ ※就活ゼミの受講者のみ	2月5日(水)～21日(金)	後学期末再評価期間(最終学年のみ)	教
		2月8日(土)	第6回定期無料法律相談会	研
		2月下旬	法学部ヨーロッパ研修旅行(予定)	学
		2月20日(木)・21日(金)	追試験	教
		2月21日(金)～28日(金)	令和7年度転部(第一部・第二部間)・転科選考Web出願期間	入
		2月26日(水)	成績発表(最終学年を除く)	教

03

3月中旬	第1回総合就職ガイダンス(新3年生対象)②	3月18日(火)	令和7年度転部(第一部・第二部間)・転科選考合格発表	入
		3月25日(火)	日本大学卒業式・学位記伝達	教

※★印は有料で事前申込が必要。 ※詳細は「LiveCampusU」、「キャリア支援サイト」、「就職指導課公式LINE」でお知らせします。
※対象について ①…1年生、②…2年生、③…3年生、院1年生、④…4年生、院2年生、無し…全学年

随時開催

就職指導課相談員への個別相談(就職相談・求人票紹介・面接練習・応募書類添削等)

東京新卒応援ハローワーク相談員への個別相談
(就職相談・求人票紹介・面接練習・応募書類添削等)

日本大学就職支援センターによる「公務員相談コーナー」

就 職 指 導 課	shushoku.law@nihon-u.ac.jp
教 務 課	kyomu.law@nihon-u.ac.jp
学 生 課	gakusei.law@nihon-u.ac.jp
研 究 事 務 課	kenjimu.law@nihon-u.ac.jp
図 書 館 事 務 課	toshu.law@nihon-u.ac.jp
入 学 セ ン タ ー	nyugaku.law@nihon-u.ac.jp
大 学 院 事 務 課	daigakuin.law@nihon-u.ac.jp

各行事についての詳細は、
各担当課に
お問い合わせください。

期間中の各イベントは変更となる場合があります。その際は法学部ホームページ、「Live Campus U」等でお知らせします。

編集後記

今回は「留学」をテーマとして、本学の留学支援や外国語教育に注目しました。「法を知る／社会を識る／世界をひらく」というスローガンを掲げているように、日本大学法学部ではグローバル化に対応できる世界的視野を持った人材の育成を目指しています。コロナ禍が収束したことで、あらためて留学に関心を抱いている学生も多いようです。そうしたニーズに応えるべく新たに2号館に設置された国際ナショナル・エデュケーション・センターについても詳しく紹介しています。本特集が、世界に雄飛するためのきっかけになれば幸いです。

(「ジャーナル」編集長 新聞学科教授 石川徳幸)



日本大学法学部

検 索

<https://www.law.nihon-u.ac.jp>

本誌「JOURNAL」のバックナンバーは、法学部ホームページにてご覧いただけます。

2024年10月発行 日本大学法学部広報 通巻147号 発行：日本大学法学部企画・広報委員会

今しかできない！留学体験記

海外留学をした日法生が
留学中に学んだことや経験したことを
「体験談」としてご紹介しています。

幼稚園の頃に英会話を習う機会があり、それ以来、ずっと海外留学に興味がありました。日大法学部に入学を決めたのも、ジャーナリズムを学べる学科と留学のプログラムの両方がある大学だったからです。

留学中に会った人たちは、皆とても優しくすぐに馴染むことができました。現地の友達もできて、一緒に勉強したり、映画を観たり、車を持っている友達と深夜のファストフード店に連れて行ってくれたこともあります。

一つ、とても印象に残っていることがあって、現地の人たちは、はっきりと自分の意見を主張するので、ある日、私も思い切って自分の意見を友達にぶつけてみたのです。友達は当たり前のように私の意見を尊重してくれましたし、私が遠慮なく意見を主張したことで、お互いに深いコミュニケーションができるようになりました。その時に、自分の意見を主張することの大切さを知りました。つまり「自分が主張しないと相手も私のことを知る術がない」ということを、身を持って学ぶことができたのです。あらためて思い返すと、とにかく楽しくて、たくさん学びがあり、本当に素晴らしい経験をさせていただいた8ヶ月間でした。

自分の意見を
主張することの大切さを
知りました



 派遣交換留学
アメリカ ウェスタンミシガン大学
新聞学科 3年 村脇 さちさん

就職活動でも
自分に自信を持って
話せるように



 派遣交換留学
ドイツ ヨハネス・グーテンベルク大学
政治経済 4年 荒木 菜花さん

入学してから「自分で何かを成し遂げたい」「何かを残さなければならない」という意識を持つようになりました。ゲームに登場するキャラクターや世界観を通じて親しみのあったドイツ語を、第二外国語に選んだことが、ドイツとの縁の始まりでした。ゼロから始めたドイツ語でしたが、興味のある分野や先生にも恵まれたことで、1年生の冬には、ドイツ語検定3級に合格。先生からも勧めていただき、留学を決意しました。そこから、ドイツ語を週に7コマ履修し、大好きなゲームや携帯電話の言語も全てドイツ語に切り替え、ドイツ語に触れる時間を強制的に増やして、留学に備えました。

留学先では、授業以外にも毎週、ドイツ人の5人グループのコミュニティに参加し、積極的に交流したほか、早朝から勉強する習慣を続けて、学びに集中しました。半期に1度、英語とドイツ語でプレゼンテーションする授業があり、そこで「結論ファースト」の伝え方を学びました。ここで身に付けたことは、就職活動でも役立ち、面接でも自分に自信を持って表現できたと思います。一方で、情緒や訛り寂びといった日本独自の文化や、日本語を客観的に見つめ直すことができた、新しい気づきをもたらえた留学でした。

自分自身が
成長することで
違う世界が見えました



 派遣交換留学
フランス アヴィニオン大学
法律学科 3年 長谷川 美新さん

「長期の海外留学」なんて、自分とは関係ない世界の話くらいに思っていました。でも仲の良い友達が長期留学することを知った時、ショックを受けてしまったんです。それで私も何かに挑戦しなければならんと思うて、交換留学プログラムに申し込みました。海外に一人で行くのは初めてでしたが、不安や心配よりも楽しみの方が大きかったですね。

アヴィニオン大学には、年齢も国籍も様々な方が通っているので、考え方や習慣を学ぶことができました。留学当初は、ほとんどフランス語ができず、全く会話についていけなかったのですが、周りの方が根気よく私の話を聞いてくれたことで、いつの間にか私の方から積極的に話しかけられるようになっていました。この留学では本当に多くのことを経験し、学ぶことができたと思います。以前とは全くものの見方も変わりましたし、何か自分の中に芯のようなものができたと感じています。

帰国してから、街を歩いていると、意外とフランス語で話している人が多いことに気が付きました。ちょっとしたことですが、それに気が付いたときに、自分自身が成長することで、それまでとは違う世界が見えることを実感することができました。

とにかくやってみよう
と踏み出した留学
期間中はひたすら勉強



 公費留学
オーストリア グラーツ大学
法律学科 4年 永川 麻里さん

両親は在学中に留学することを強く勧めてくれたのですが、私は、もともと内気な性格もあって、あまり積極的ではありませんでした。怖いというか。それでも1年生の時に短期語学研修でダブリンに行ったら、意外とハードルが高くないと感じ、翌年にはウィーンの語学研修にも参加しました。そしてその頃には、いずれは長期留学もしてみたいと思うまてになつていたのです。

私が利用した「オーストリア政府給費留学制度」の場合、全てを自分で手配しなければなりません。どの大学で、何を、どのように学ぶか、などの研究計画書を作り、住むところを探して、留学予定大学の先生にスーパーバイザーになっていたただけるよう、直接メールもしました。他にもいろいろな手続きがあり、短い期間で準備するのは大変でしたが、同じ制度を利用する友人と共に、励まし合いながら一緒に乗り切ることができました。留学期間中は徹底的に勉強したいという気持ちだったので、ひたすらに勉強に打ち込んでいましたね。

私は、考え過ぎて動けなくなるところがあるので、今回あまり考えずに「とにかくやってみよう」と踏み出したことも、自分にとっては大きな収穫になったと思っています。

今後の学びに対する
自信とモチベーションに
なりました



 派遣交換留学
韓国 新羅大学校
経営法学科 2年 橋畑 李瑚さん

留学先に新羅大学校を選んだのは、随意選択外国語の授業で韓国語を勉強したことで、韓国の言葉や文化に興味を持ったからです。留学自体には以前から興味があり、校内の説明会やプログラムに参加するなど、積極的に情報収集をしていたのですが、実際は申し込むギリギリまで悩んでいました。当時は全くと言っていいほど韓国語ができなかったこともあり、海外での生活がとても不安でした。でも何か新しいことに挑戦したいと思っていましたし、挑戦するなら早ければ早いほどいいのではないかと考えて決断しました。

今はちょうど前学期が終わったところですが、先日の修了式で機関長賞と成績優秀賞をいただきました。渡航前に留学の相談をしていた先生がいつも「あなたは学ぶ姿勢があるから絶対に大丈夫」と励ましてくださっていて、その言葉を信じてこの半年間夢中で過ごしてきたので、本当に嬉しいです。まだ韓国語を完全にマスターできてはいませんが、今後の学びに向かう自信とモチベーションになりました。残り半年間、たくさん学び、いろいろな経験をすることで、自分自身がどんどん成長していけるだろうと、期待しています。



友達や先輩、先生の
前向きなパワーが
頑張る気持ちを後押し



短期語学研修
オーストリア ウィーン大学
法律学科 3年 早川 由里子さん

正直に言うと、何か目的があったわけではなく、楽しそうだから行ってみたい、くらいの軽い気持ちで参加を決めました。3年生になれば就職活動も始まりますし、2年生のうちに行っておこうと思ったんです。ウィーンでは、平日の午前中はドイツ語の授業を受け、午後は美術館や、カフェなどで過ごしました。街の中心部に観光名所が集まっているので、一通り有名なところは巡れたと思います。授業ではドイツ語の文法を基礎から応用まで一通り学び、研修最後の試験にも無事合格して日本での単位も取得しました。帰国してから受けたドイツ語検定も、以前より良い結果だったことがすごく嬉しかったです。なんとなくで参加した語学研修でしたが、今はあの時参加する気持ちになって本当に良かったと思います。ウィーンの街は素晴らしく、本当に楽しく過ごせましたし、何より研修で一緒に参加した友達や引率してくださった先生、現地でお会いできた留学中の先輩方の前向きなパワーに触れて、私自身も前向きに頑張ろうと思うようになったからです。今はまだ予定していませんが、今回の経験のおかげで、長期留学に行く気持的なハードルは、ずっと下がったと思います。

海外の文化や
習慣への興味が
より深まりました



短期語学研修
アイルランド ダブリンシティ大学
法律学科 2年 森脇 健人さん

今でも仲の良い幼馴染みがドイツに住んでおり、海外の文化や生活に興味があったので、いつかは留学してみたいなと漠然と考えていました。そして去年、何年かぶりに短期語学研修プログラムが再開したと知り、せっかくの機会だから参加してみようかと、と両親が勧めてくれたのです。最初は多少不安もありましたが、いざ準備を始めたら、手続きや申請は教務課の方がわからないところをサポートしてくれましたし、説明会には短期語学研修の経験があるOBOGの方がいらして、具体的なアドバイスなどをいただけたので、安心して参加できました。研修中は、仲間たちと一緒に授業を受け、カフェテリアで昼食をとったり、他の大学の芝生で勉強したり……まさに青春という感じで楽しかったです。引率の先生が、いつもさりげなく見守ってくださっていたので、大きなトラブルもなく過ごすことができました。今回この研修に参加したことで、もっといろいろな国の文化や習慣を知りたいと思うようになったのが大きな収穫でした。海外の方との交流が楽しく、留学生に日本語を教えるボランティアも始めました。機会があれば長期の留学にも参加したいですし、いつか幼馴染みがいるドイツにも訪れたいです。

実際にその国を
体で感じなければ
学べないことがあります



短期語学研修
アイルランド ダブリンシティ大学
新聞学科 4年(当時) 阿部 匠さん

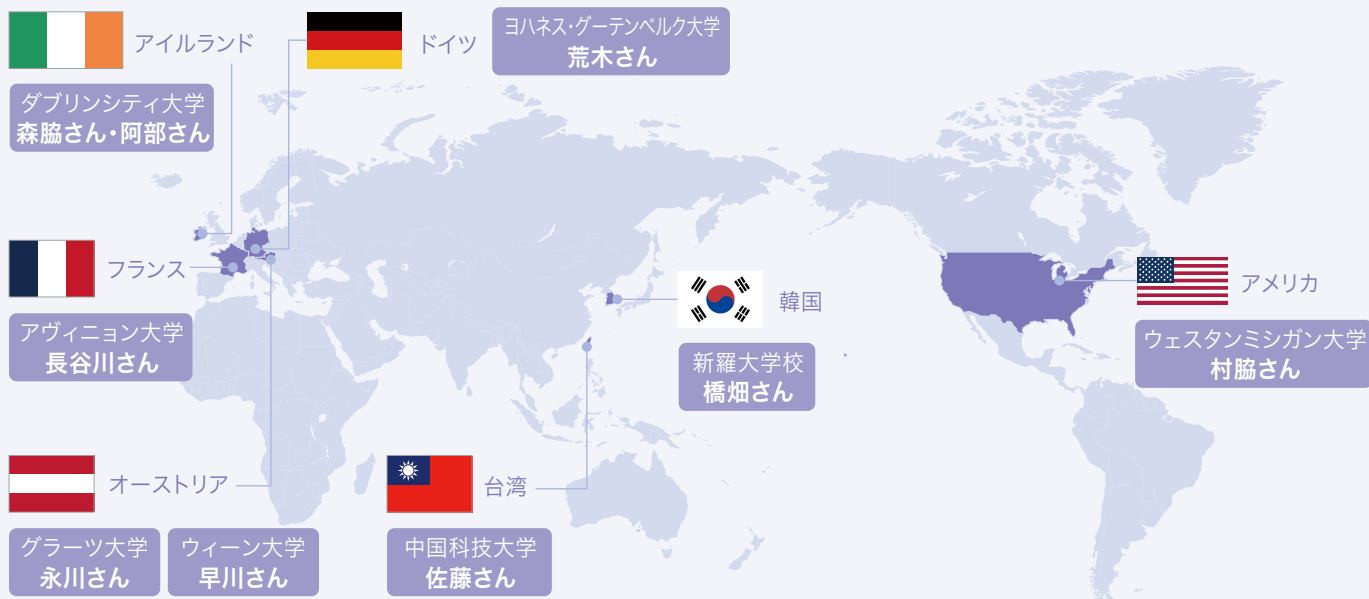
私は、コロナ禍の影響などもあって、1年生から3年生までの間、ほとんど大学に通うことができませんでした。4年生になってからは、もう大学に行く必要がなくなっていたので、そのまま何もなければ、大学生らしいことを何もせずに卒業を迎えることになりました。さすがに心残りもあったので、短期語学研修に参加することを決めました。海外に行ったのはこの時が初めてです。ダブリンの街は都会過ぎず、落ち着いた雰囲気、自分に合っていると感じました。実際に、その国に訪れ、文化、風習などの質感や空気を体で感じなければ、学べないことがあると思います。例えば日本国内にいてもある程度は語学を学ぶことはできますが、経験の伴わない言葉は、本当の意味で人に伝わらないのではないのでしょうか。現地には引率の先生が同行されていましたし、学部に参加者全員が同じ学生寮で暮らしていたので、特にトラブルや困ったことはありませんでした。結果的に、この研修に参加したことで、とても大切なものを得ることができました。一つは経験と、もう一つは、かけがえない仲間です。3週間、共に過ごした仲間たちとは、卒業した今でも交流があります。

悔しさが
もっと勉強したい、という
モチベーションに



短期語学研修
台湾 中国科技大学
公共政策学科 3年 佐藤 幸一郎さん

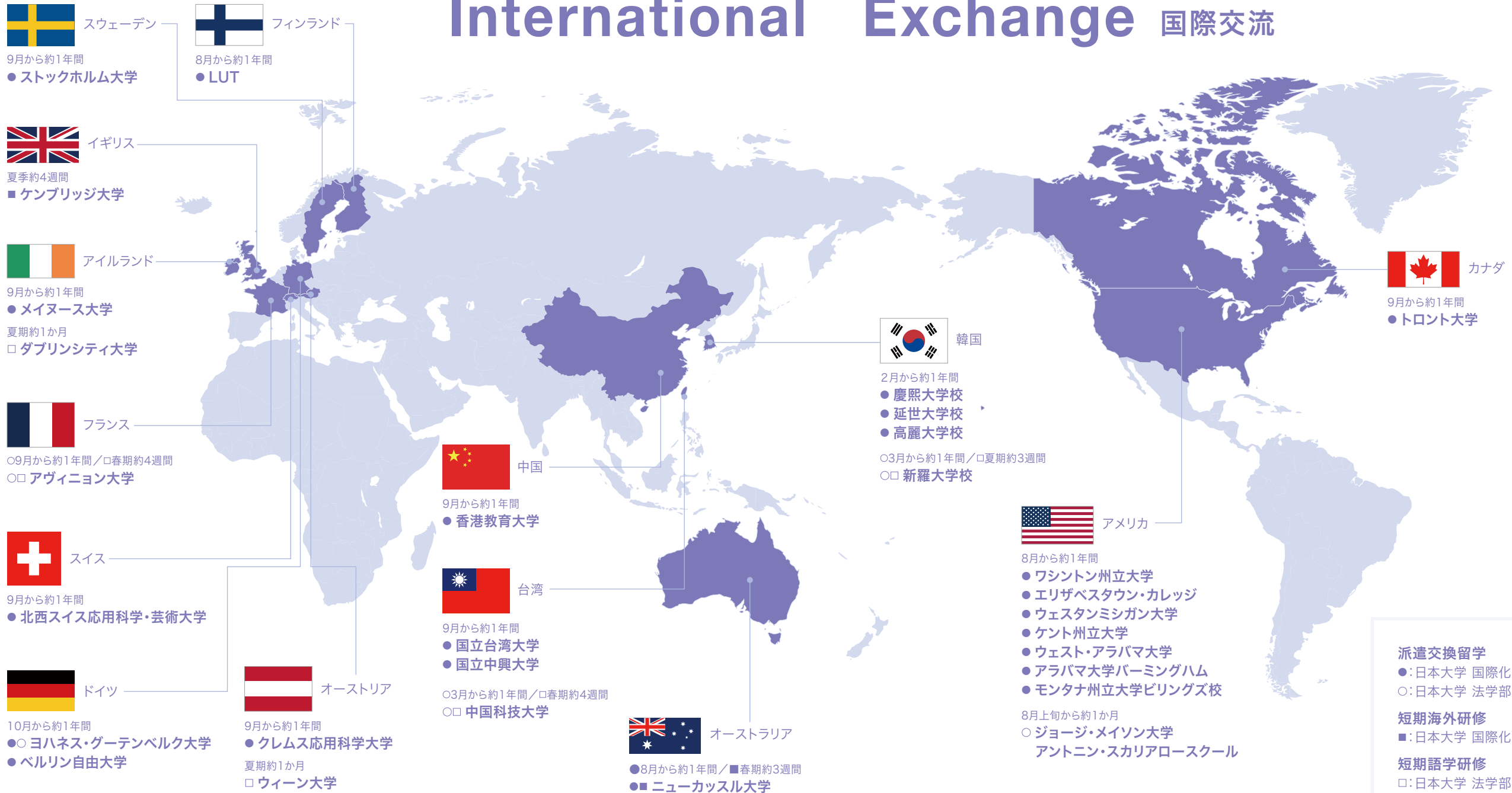
今回、短期語学研修に参加したのは、先生が勧めてくださったことがきっかけです。以前から中国語に興味があり、いつかは中国語のネイティブスピーカーの方と交流してみたいという思いもあったため、留学にも関心を持っていました。研修中は、中国科技大学の方々、毎日台湾の街を案内してくれました。観光地にも訪れましたが、ボウリングや夜市など、現地の人が集まる場所で、現地の仲間と遊んだことが思い出に残っています。やっぱり食事はとても美味しいですよ。特に印象に残っているのはルーローハンです。一緒に行った仲間が毎朝のように食べていました。楽しい思い出ばかりなのですが、思った以上に言葉が通じなかったことだけが悔しかったですね。渡航前も勉強はしていたので、もう少し通じると思ったのですが、初めのうちはコンビニエンスストアの店員さんの簡単な言葉すら聞き取れなくて、でもその悔しさが、もっと勉強したい、というモチベーションにもなりました。今は研修以前よりもずっと台湾の文化や風習に興味を持っています。もし機会があれば長期留学もしてみたいですし、その時は現地の仲間たちを冗談で笑わせられるくらい中国語が上達したいですね。



日法の留学支援

日法には派遣交換留学、認定校留学、短期海外研修・語学研修があります。

International Exchange 国際交流



派遣交換留学

- : 日本大学 国際化推進室
- : 日本大学 法学部教務課

短期海外研修

- : 日本大学 国際化推進室

短期語学研修

- : 日本大学 法学部教務課

留学についての 4つの制度の違い

派遣交換留学

派遣交換留学とは、一定期間（プログラム毎に異なる）海外提携大学で学ぶ制度です。派遣交換留学で派遣される場合、派遣先大学の授業料が免除（語学コースでの授業料を除く）となります。留学期間における法学部の授業料は免除となりますが、別途、留学在籍料（半年間6万円）がかかります。なお、派遣期間中は基本的に派遣先大学が指定する学生寮等に滞在することになります。

認定校留学

認定校留学とは、「本学派遣交換留学制度によらず、学生個人が留学先の大学を選定し出願して、入学許可を取得した上で、留学許可を願い出て、公式な許可を受けて留学する」制度です。認定校留学で留学する場合、留学期間における法学部の授業料は免除となりますが、別途、留学在籍料（半年間6万円）がかかります。

短期海外研修

日本大学本部主催による短期海外研修は、春期と夏期に開催される日本大学全学生を対象としている制度です。日頃交流の少ない他学部との学生と交流する機会があります。研修先での授業料の一部は日本大学が補助します。

短期語学研修

本学の提携校で行われる語学研修に参加する制度です。期間中は、現地教員による語学等の授業の他、フィールドトリップ等で異文化体験をすることができ（内容はプログラム毎に異なります）。



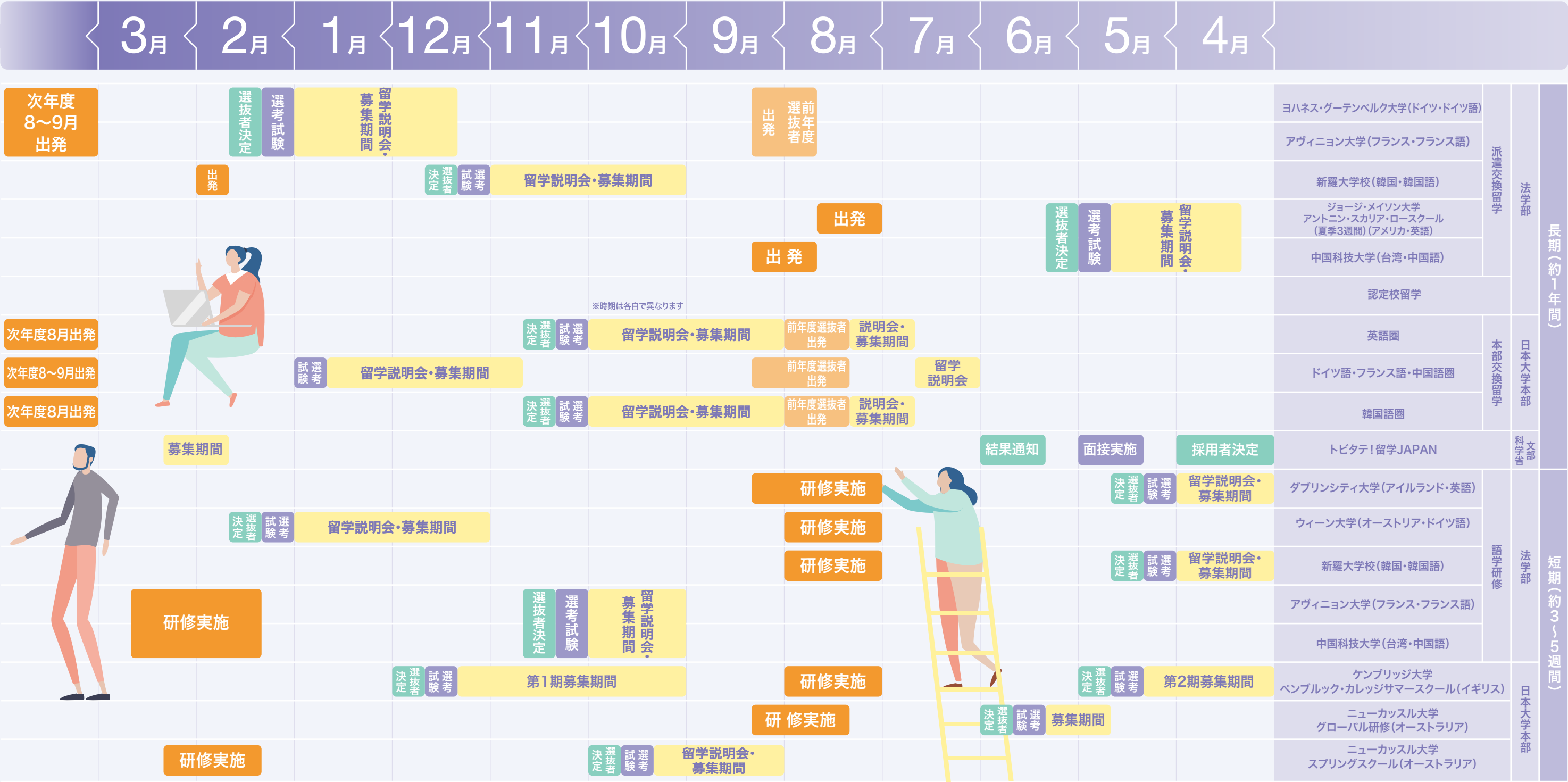
日法の留学支援について、
最新情報はこちらをチェック！

<https://www.law.nihon-u.ac.jp/international/>



留学イベント年間スケジュール

年間イベントを参考にして計画を立ててみてください。
最新の情報はホームページでご確認ください。



次ページのIECセンターも利用してみよう!

日本大学国際化推進室
☎ 03-5275-8116
✉ int@nihon-u.ac.jp
<http://www.nihon-u.ac.jp/international/>

日本大学法学部教務課
☎ 03-5275-8502
✉ kyomu.law@nihon-u.ac.jp
<https://www.law.nihon-u.ac.jp/international/>

留学制度および海外研修・語学研修制度
お問い合わせ先

受講については受講料が必要ですが、大学からの補助により、極めて低廉な価格で受講できます。詳しくは教務課にお問い合わせください。

英検・IELTS集中課外講座
(一次試験対策)

英検・IELTS集中課外講座
(面接・プレゼンテーション対策)

TOEFL課外講座
前学期はTOEFL-ITP、後学期はTOEFL-IBT

留学・海外研修のための英語課外講座
output中心、input中心

ドイツ語講座
前学期は「留学・海外研修のためのドイツ語講座」、
後学期は「ドイツ語Goethe-Institut / ÖSD A1 A2対策講座」と「ドイツ語集中課外講座」

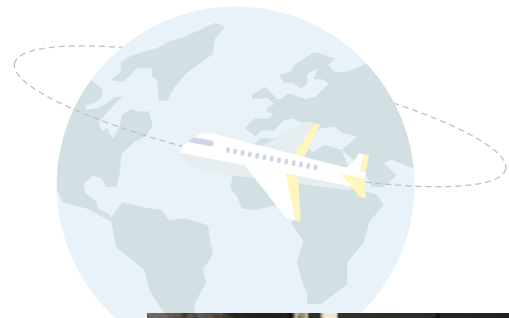
留学・海外研修のためのフランス語講座

中国語講座
前学期は「中国語発音トレーニング講座」、
後学期は「留学・海外研修のための中国語講座」

TOEIC Bridge Testから始める
TOEIC L&R Test 対策講座
前学期のみ

TOEIC L&R模擬テストを受験しよう!
後学期のみ

外国語の勉強に役立つ課外講座



国際交流 イベントの 様子



国際交流イベントについて

IECは今夏、国際交流イベント「Exchange Café」留学フェア」を3回に渡り開催しました。

本イベントではドイツのヨハネス・グーテンベルク大学及びカナダのトロント大学から来日中の留学生を招き、大学紹介や現地の様子、学生生活について話してもらいました。

留学検討中の日法生から活発な質問も飛び交い、充実したイベントとなり大好評のうちに開催が終了しました。

今秋も開催予定ですので、興味のある方は、ポータルサイトをチェックしてお早めにお申し込みください。



IECでどんなことが相談できるの？

IECでは、留学に必要な準備やスケジュールの相談、留学に必須である外国語学習法のアドバイスなど、幅広い内容で相談を受け付けています。

具体的には、「留学したいけれど、何から始めればいいのかわからない」「手続きに不安がある」「留学までのスケジュールについてアドバイスが欲しい」といった悩みを抱える学生の皆さんに対して、経験豊富な専任の職員が親身に対応しています。

留学に興味がある方はもちろん、国際交流に関心のある学生の皆さんも、ぜひ気軽にIECを訪れてみてください。

IECはどんなところ？

令和6年4月、法学部2号館1階にインターナショナル・エデュケーション・センター（IEC）が新たに設置されました。

このセンターには専任の職員が常駐しており、日本大学及び日本大学法学部が独自に提供する多種多様な交換・派遣留学や海外語学研修などの最新情報を集約し、学生の皆さんへの情報提供や留学に関する相談ができる重要な拠点となっています。

IECで留学の相談をしよう！
お待ちしております！

International Education Center(IEC)

- 📍 日大法学部2号館1F
- 🕒 平日 10:00～18:00 (13:00～14:00昼休み)
隔週土曜日 9:00～12:15
- ☎ 03-5275-8502 (教務課)

最新情報はポータルサイトでチェック！
<https://lcu.law.nihon-u.ac.jp/lcu-web/>



専任の職員が親身に対応いたします。



室内は留学に関する資料や学生が使用可能なパソコンも設置されています。



入口には開館時間の案内板や各種イベントの案内が掲示されています。

IEC (International Education Center) を訪ねてみよう！

こんにちは
Hello
안녕하세요
Bonjour
Halo
你好

日法の留学への取り組みについて

国際交流委員会では、国際交流の情報・舞台・経験を、本学部の学生に提供しています。具体的には、世界各国の大学と学術交流の合意を締結し、長期交換留学、短期海外研修、研究者の招聘、駐日大使による講演等に関するプログラムを企画し実施しています。

4月から新たに開設されたIEC※1と連携し、留学情報の収集や発信はもちろん、新規の学術交流協定校の開拓や、学生のニーズに合わせて既存プログラムの改変を行うのもこの委員会の役割です。

近年、オーストラリアのニューキャッスルに日本大学のキャンパスがオープンしたのですが、ここには本学部の「日本法情報センター」が設置されること



国際交流委員会委員長 日法の留学を支える 国際交流委員会

坂本 力也 教授 経営法学科

になり、日本法を世界に向けて発信するプロジェクトの準備が進んでいます。これは今後、専攻学問領域における活発な国際交流のプラットフォームになると期待しています。他にも各国大使による自国の国際情勢と、日本との関係を踏まえた特別講演も本学部の国際交流ならではの重要なミッションです。本年度は駐日モルドバ大使にいらしていただきました。参加者は国際的視点での質疑応答をとても楽しんでる様子でした。

国際情勢や経済状況などが刻一刻と変化している現在、国際交流の機会をこれまで以上に模索し、切り拓いていくことが国際交流委員会の使命と言えるでしょう。

※1 インターナショナル・エデュケーションセンター

本学部での学生の可能性を広げる外国語教育は、多様なカリキュラムによって、一人ひとりの適正に合わせてカスタマイズされたプログラムを提供しています。グローバル社会の重要言語である英語に関しては、TOEFL・TOEIC・IELTSなどの資格試験対応コース、短期語学研修・長期語学留学などの留学プログラムに加え、課外講座も充実させ、網羅的な学習を本学内で完結することを可能にしています。選択必修外国語では、短期語学研修と長期留学をリンクさせ、体系的かつ包括的に学習できることが本学部の特長です。

日々急速にグローバル進展している現代において、外国語教育の一層の充



外国語能力開発委員会委員長 真の国際人の育成を目指す 多面的な外国語教育

黒滝 真理子 教授 外国語領域(英語)

実は国際的視野を身につけた真の国際人を育成するために重要です。言語はそれが使われている地域や思考と表裏一体であり、母語と異なる言語を学ぶことは、言語能力を高めるだけではなく、自文化を相対化し、他者を受容することに繋がります。そして世界の共栄共存のためには他者理解が必要であり、その鍵を握っているのが言語だと言えるでしょう。

外国語学習は世界に旅立つ「踏切板」です。「踏切板」に上手く踏み込み、その力を次の飛躍へと最大限に活かす、いかに的確かつ綺麗に着地できるか。そのサポートをするために外国語能力開発委員会は日々、外国語教育に取り組みんでいます。

日本大学法学部では、毎年2月下旬に15日間のヨーロッパ研修旅行を実施しています。この研修旅行は、日本の近代化に多大な影響を与えたヨーロッパ諸国を広く見聞することで、「法学部生として、その専攻学問領域に密着した、歴史、文化、自然、社会生活などに直接触れること」、そして「交流国との親善を深めること」を目的としています。

現地には、女性1名以上を含んだ引率の教職員3名と添乗員が2名同行するので、渡航経験がない学生や外国語が苦手な学生でも、安心して参加できます。また前年に引率した教職員や、語学の教員にもご協力いただき、現地の情報をリアルタイムにチェック



学生生活委員会 海外研修旅行小委員会委員長 安全かつ充実した研修で 海外に踏み出す一步を支援

岩井 義和 教授 公共政策学科

しているので、旅先での安全を担保すると同時に、その時にベストな場所を訪れることができています。

遠い異国の地で、学年の違う学生同士や普段接することが少ない教職員と過ごす15日間は非常に充実した濃厚な時間です。きっと新たな人間関係を築くこともできるでしょう。出発前と帰国後の写真を見比べてみると、短い期間で急成長したことがその笑顔の中に伺うことができます。この研修旅行は、研修旅行小委員会が中心となり、大学が万全のケアをしています。安全面の心配や語学に自信がなくても、安心して一歩踏みだせるきっかけとして活用して欲しいと、私は考えています。



出発(東京・羽田発)	
2/26	ドイツ
27	オーストリア
28	ウィーン市内
29	ノイシュヴァンシュタイン城
3/1	ドイツ
2	バイエルン州
3	ローマ市内
4	フィレンツェ市内
5	ミラノ市内
6	アヴィニオン大学視察
7	TGVでパリ市内へ
8	フェアウェルパーティー
9	フランス
10	パリ市内
11	帰国(東京・羽田着)

令和6年2月26日から15日間、4年振りの日本大学法学部ヨーロッパ研修旅行が行われました。

学生40名・引率教職員3名

第57回日本大学法学部ヨーロッパ研修旅行

海外留学生に聞いてみた！

日本大学への留学の目的は？

日本旅行での感動がきっかけで日本への留学を決意しました。留学の目的は、いろいろなことにチャレンジして人間的に成長すること、そして日本語能力の向上です。そのため、日本大学の充実した語学・文化プログラムに魅力を感じ、留学先を選びました。

留学生生活はどうでしたか？

留学生生活は本当に居心地が良く、素晴らしいものでした。周りの皆さんが温かく迎えてくれて、いつも親切にサポートしてくれました。授業もリラックスして受けることができ、とても楽しかったです。授業後には仲間と語り合ったり、カラオケに行ったり、大学主催の日光旅行に参加したりしました。日本文化を深く学び、かけがえない友情も築くことができ、本当に充実した留学生活でした。



揚げた鶏肉と半熟卵と
ご飯のセットが
学食でお気に入り
メニューでした！

ヨハネス・グーテンベルク大学(ドイツ)
Philipp Johannes Harth さん
2024年5月10日から7月30日まで

自己成長を実感でき、
さらに勉強を続ける
モチベーションも高まった
留学となりました！



トロント大学(カナダ)
Kai Wang さん
2024年5月17日から7月29日まで

日本大学への留学の目的は？

日本の文化や歴史、日本語に興味があり、実際に日本で学ぶことで、それらが現代の日本社会にどう影響しているのかを直接見てみたいと思ったからです。また、日本の料理文化にも魅力を感じ、それも留学のきっかけの一つとなりました。

日本での留学の感想を 教えてください！

日本語の授業はとても体系的で、毎日学ぶ楽しさを感じていました。授業を通じて自分の成長を実感できたことで、さらに学び続ける意欲も高まりました。学食もよく利用し、特にお気に入りAセットでした。全体的に、日本での留学は言語学習だけでなく、文化体験も含めて本当に充実したものでした。

本年度から

「就活ゼミ」が始まります！

法学部就職指導委員会・就職指導課

日本大学法学部では、これまで法学部校友会の御理解・御協力を得ながら、学生の皆さんの就職活動を支援する数多くの行事を企画・実施してきました。本年度からは、これらに加え、さらに強力に法学部学生の就職活動をサポートするための企画として、新たな課外講座「就活ゼミ」を開講することとなりました。

現在、就職活動を行う上で必ず身につけなければならないのは、エントリーシート(E・S)対策、面接対策、グループディスカッション(GD)対策の3つのスキルです。これらのスキルを体得することで、他大の学生に差をつけ、就職活動をよりスムーズに進めることが出来るようになります。法学部が開講する「就活ゼミ」では、この3つの就活スキルを基礎から応用・実践まで無理なく修得できるようにプログラムを組んでいます。具体的には、エントリーシート(E・S)対策を行う【E・S対策ゼミ】・面接対策を行う【面接対策ゼミ】・グループディスカッション(GD)対策を行う【GD対策ゼミ】・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳを「就活ゼミ」として開講します。さらに、E・S対策ゼミと面接対策ゼミについては、民間企業志望者のクラスと

現在、就職活動を行う上で必ず身につけなければならないのは、エントリーシート(E・S)対策、面接対策、グループディスカッション(GD)対策の3つのスキルです。これらのスキルを体得することで、他大の学生に差をつけ、就職活動をよりスムーズに進めることが出来るようになります。法学部が開講する「就活ゼミ」では、この3つの就活スキルを基礎から応用・実践まで無理なく修得できるようにプログラムを組んでいます。具体的には、エントリーシート(E・S)対策を行う【E・S対策ゼミ】・面接対策を行う【面接対策ゼミ】・グループディスカッション(GD)対策を行う【GD対策ゼミ】・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳを「就活ゼミ」として開講します。さらに、E・S対策ゼミと面接対策ゼミについては、民間企業志望者のクラスと

公務員志望者のクラスを分けて開講し、学生の皆さんの志望に合わせた、よりきめ細やかな授業を展開することとしています。これら各ゼミを指導するのは、就活指南本のベストセラー『絶対内定』で知られる、老舗就活予備校の我究館です。法学部では、ダブルスクールをすることなく、学内で我究館の就活ノウハウを教えてもらうことが出来るようになります。

「就活ゼミ」第1弾として、まずは本年9月から11月にかけてE・Sゼミ(2年生対象)・Ⅲ(3年生対象)、面接対策ゼミⅡ(3年生対象)、GD対策ゼミⅡ(3年生対象)が開講されます。12月からは第2弾として、E・SゼミⅡ(2年生対象)・Ⅳ(3年生対象)、面接対策ゼミⅠ(2年生対象)・Ⅲ(3年生対象)が開講されます。「行けるところではなく、行きたいところに就職しよう!」——この合言葉のもと、法学部長・事務局長はじめ法学部教職員は丸となって学生の皆さんの就職活動をバックアップしていきます。「就活ゼミ」に興味のある学生の皆さんは、就職指導課(10号館2階)までお気軽にお問い合わせください。

法桜祭 第45回

11/2-3
Sat. Sun.

今年のテーマ
絆
—つなぐ—



第45回法桜祭実行委員会



すべての方々が最後まで笑顔で楽しんでいただけるように

今年度で第45回の節目となる法桜祭。近年では新型コロナウイルスによる影響でオンラインでの開催が余儀なくされる年度もありました。しかし、先輩方や大学の職員の方々そしてかわつてくださった企業の方々や地域の方々のおかげで第45回までつながれてきました。その様な法桜祭を45回でとどめることなく今後10年20年とつなげていくことができるようにという思いを込めて「絆(つなぐ)」このスローガンを掲げました。

今年度は、これまでの企画のアップグレードはもちろん！実に5年ぶりの復活となる大食い企画や、45周年を記念

とする特別展示企画、そして、経済学部の三崎祭とのコラボ企画もすすめていきます！

法桜祭は我々実行委員会だけで開催することはできません。支えてくださるすべての方々のおかげで、形にすることが出来ます。来てくださるすべての方々、かわつてくださるすべての方々、最後まで笑顔で楽しんでいただけるように全力で本祭まで駆け抜けていきます！

第45回法桜祭をどうぞよろしくお願いたします。

[最新情報はこちらから]



法桜祭HP

✕ @phoenio @2024phoenix45

TikTok: houousai_jikkouinkai

第45回法桜祭実行委員長

望月雄一郎